

宮崎県

農福連携

技術支援者 育成研修

参加費
無料

農福連携技術支援者育成研修は、
農業者や障がい福祉サービス事業所の農福連携を支援する
農林水産省カリキュラムに基づく専門人材育成研修です。

参加対象

農業・福祉等の幅広い関係者（農福連携に関わっている方、
またこれから関わろうとする方）20名程度

※希望者多数の場合は調整させていただきますので御了承ください。

お申し込み方法

2次元コードをスマートフォンで読み取り、もしくは下記リンクへ進み、
申し込みフォームに必要事項を入力してお申し込みください。

参加申込締切：**2026年11月20日（金）**

スマートフォンで読み取り！



▶ パソコンからお申し込みの方はこちらのURLからお進みください

<https://forms.gle/UxrJCc65ukqAprDC6>

[お問い合わせ]

株式会社ふくしごと（事務局担当：森山・山崎）

TEL：092-403-0091 Email：noufuku@fukushigoto.co.jp
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-20-14
<https://fukushigoto.co.jp>

（主催）宮崎県農政水産部 農村振興局 担い手農地対策課

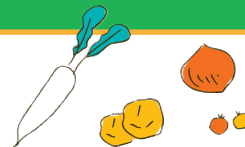
研修概要

研修は、農福連携技術支援者として必要不可欠な基礎的・実務的知識をe-Learning教材を用いた座学講義の第1講座、実際の現場に出て必要となる実務的な技法を座学講義・グループワーク・実地研修の第2講座の二部構成で実施します。

ガイダンス

日程 2026年12月1日(火) 10:00~11:30

場所 オンライン ファシリテーター 株式会社ふくしごと



第1講座 座学講義 e-learning (動画視聴による研修)

● ウェブにてe-learning動画公開 (期間内に各自動画視聴)

動画配信期間 2026年12月1日(火) ~12月25日(金)

カリキュラム ・はじめに「農福連携をめぐる情勢」

①農福連携概論(1コマ)

②社会福祉や障がい者雇用・障がい福祉サービス事業等に関すること(4コマ)

③農業や農業経営等に関すること(6コマ)

・確認テスト



第2講座 座学講義・グループワーク・実地研修

● 障がい福祉サービス事業の運営の実務

日程 2027年1月19日(火) 10:00~15:30

場所 就労継続支援A型ヒカリのアトリエ・宮崎県立農業大学校農業総合研修センター(高鍋町)

講師 沼口 明典(就労継続支援A型ヒカリのアトリエ/株式会社ベジコム 代表)



● 障がい特性に対応した農作業支援技法

日程 2027年1月20日(水) 10:00~15:30

場所 就労継続支援A型ヒカリのアトリエ・宮崎県立農業大学校農業総合研修センター(高鍋町)

講師 沼口 明典(就労継続支援A型ヒカリのアトリエ/株式会社ベジコム 代表)



● 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法

日程 2027年1月21日(木) 9:00~17:00

2027年1月22日(金) 9:00~12:00

場所 宮崎県立農業大学校農業総合研修センター(高鍋町) 講師 株式会社ふくしごと

監修 山本 俊光(西日本短期大学 緑地環境学科 准教授/人間・植物関係学会 理事)



● 農福連携技術支援者の役割と実践事例

日程 2027年1月22日(金) 13:00~15:10

※本講座終了後、15:30~17:00に修了試験を実施します。

場所 宮崎県立農業大学校農業総合研修センター(高鍋町)

講師 湯浅 まき子(農福連携推進センター コーディネーター)

田原 敬介(宮崎食研有限会社 代表取締役)

福富 博之(就労継続支援A型ヒカリのアトリエ)

修了試験を受けるためには
全講座の受講が必要です

過去受講者からの感想【2026年】

(行政関係者)作業を行ってみると、作業前に考えていた内容と異なる事や、より改善が必要な点が分かり、自分でやってみる事の大切さが分かった。

(農業者)特性や個性に応じた作業を割り当て、個人の強みを活かしていくことが非常に重要だと思った。

(農業者・福祉事業者)実際の事業所や現場を見ることができて、自分の目指している事業のヒントになりました。

(福祉事業者)福祉事業者が農業関係者と出会う機会となった。